



## 2019年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年6月13日

上場会社名 正栄食品工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8079 URL http://www.shoeifoods.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)本多 市郎  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)藤雄 博周 (TEL)03(3253)1211  
 四半期報告書提出予定日 2019年6月14日 配当支払開始予定日 2019年7月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年10月期第2四半期の連結業績(2018年11月1日～2019年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第2四半期	57,509	1.7	2,591	△18.7	2,566	△21.4	1,761	△25.2
2018年10月期第2四半期	56,534	2.9	3,188	△10.3	3,269	△8.6	2,355	1.5

(注) 包括利益 2019年10月期第2四半期 1,749百万円(△9.2%) 2018年10月期第2四半期1,928百万円(△38.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第2四半期	103.93	—
2018年10月期第2四半期	138.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年10月期第2四半期	79,106	40,053	49.6
2018年10月期	70,681	38,700	53.6

(参考) 自己資本 2019年10月期第2四半期 39,285百万円 2018年10月期 37,934百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2019年10月期	—	23.00	—	—	—
2019年10月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年10月期の連結業績予想(2018年11月1日～2019年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	1.3	4,600	△2.4	4,750	△2.7	3,300	△2.1	194.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年10月期2Q	17,100,000株	2018年10月期	17,100,000株
2019年10月期2Q	150,654株	2018年10月期	150,471株
2019年10月期2Q	16,949,441株	2018年10月期2Q	17,021,079株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	増減率
売上高	56,534	57,509	1.7%
営業利益	3,188	2,591	△18.7%
経常利益	3,269	2,566	△21.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,355	1,761	△25.2%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により、緩やかな回復基調が続いておりますが、世界経済においては、米中貿易摩擦を背景とした諸外国の保護主義的な通商政策など、先行き不透明な状況に推移しました。

食品業界においては、惣菜、調理済み食品などの中食市場の拡大や、訪日外国人観光客が増加する中、外食市場の一部に消費活動の伸長も見られましたが、総じて生活防衛・節約志向は依然として強く、また、人手不足に伴う労働コストの上昇や物流費の高騰など、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況にあって当社グループは、国内事業においては、乳製品を中心とした新規需要先の開拓や、製菓用原材料、業務用加工食品等の販促活動を推し進めるとともに、新たに竣工した茨城県筑西市のチョコレート工場の本格稼働に努めてまいりました。また、海外事業においては、米国国内でのナッツ・ドライフルーツ等の購買機能および品質管理の一層の充実を図り、中国事業では、山東省青島市および吉林省延吉市に所在する生産子会社2社による製菓・製パン業界向け乾燥果実の加工食品の生産強化に注力してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.7%増の575億9百万円となりました。利益面では、主力の米国産クルミ、レーズン等の商品相場の変動に伴い売上総利益率が低下したことから、営業利益は前年同期比18.7%減の25億91百万円、経常利益は前年同期比21.4%減の25億66百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比25.2%減の17億61百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の品目別の業績は次の通りであります。

(単位：百万円)

	前連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)		当連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)		前期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
乳製品・油脂類	17,132	30.3%	18,423	32.0%	1,291	7.5%
製菓原材料類	8,613	15.2%	8,779	15.3%	165	1.9%
乾果実・缶詰類	21,007	37.2%	20,226	35.2%	△780	△3.7%
菓子・リテール商品類	9,604	17.0%	9,913	17.2%	309	3.2%
その他	177	0.3%	166	0.3%	△10	△6.1%
合計	56,534	100.0%	57,509	100.0%	974	1.7%

所在地別セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高	50,146	9,113	5,123	64,383	△6,874	57,509
セグメント利益	2,257	455	90	2,803	△212	2,591

(注) 1. セグメント利益の調整額△212百万円には、セグメント間消去1百万円、全社費用△213百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

① 日本

当地域の売上高は、製菓・製パン向けに加糖練乳や輸入乳製品が伸長し、栗加工品などの製菓材料や外食向け業務用食材も販売増となりました。米国産レーズン、クルミ等の乾果実・ナッツ類は、前期実績を下回りましたが、菓子類はクランチチョコ等の新商品が好調に推移したことから、当地域の売上高は前年同期比3.6%増の501億46百万円となりました。一方、セグメント利益は、乾果実・ナッツ類の利益率低下に伴い、前年同期比12.8%減の22億57百万円となりました。

② 米国

当地域の売上高は、クルミ事業における2018年度産の原料買付数量が、前年同期比で約8%増となり、その後の販売状況もインド・中東向けに堅調に推移しておりますが、米中間の追加関税措置の発動以降、乾果実・ナッツ類の商品相場が総じて下落基調となり、前年同期比17.1%減の91億13百万円となりました。セグメント利益は、農園収益の減少や相場変動に伴う利幅の縮小から前年同期比37.1%減の4億55百万円となりました。

③ 中国

当地域の売上高は、欧州等向けのシード類の輸出売上が人民元安などを背景に好調に推移し、国内販売についても乾果実類が堅調に推移したことから、前年同期比3.4%増の51億23百万円となりました。セグメント利益は、米国産農産物への輸入関税引き上げによる採算低下もありましたが、同国農産物の買付け機能の強化と生産性の改善等も有り、前年同期比17.6%増の90百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ84億24百万円増加し、791億6百万円となりました。その主な要因は、流動資産については、「商品及び製品」が7億41百万円、「前渡金」が3億73百万円それぞれ減少したものの、「現金及び預金」が45億33百万円、「受取手形及び売掛金」が39億48百万円、「仕掛品」が5億77百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ76億1百万円増加し、536億83百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が5億36百万円、無形固定資産が3百万円、投資その他の資産が2億84百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ8億23百万円増加し、254億23百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ70億71百万円増加し、390億52百万円となりました。その主な要因は、流動負債については、「賞与引当金」が1億29百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が20億34百万円、「短期借入金」が12億99百万円、「未払法人税等」が1億19百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ35億34百万円増加し、292億24百万円となりました。固定負債は、「長期借入金」が34億56百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ35億37百万円増加し、98億28百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億53百万円増加し、400億53百万円となりました。その主な要因は、「利益剰余金」が13億71百万円増加したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、19億55百万円（前年同四半期の使用した資金は6億37百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益25億48百万円、減価償却費10億39百万円、売上債権の増加39億75百万円、たな卸資産の減少2億26百万円、仕入債務の増加20億54百万円、法人税等の支払額6億13百万円等によるものです。

前年同四半期比で資金が増加となりました要因は、減価償却費が前年同四半期に比べ1億13百万円増加し、たな卸資産の増減額、その他の流動資産の増減額が前年同四半期に比べ35億51百万円、12億30百万円それぞれ減少したことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、17億16百万円（前年同四半期の使用した資金は27億87百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

前年同四半期比で使用した資金が減少となりました要因は、有形固定資産の取得による支出が11億21百万円減少したことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、43億7百万円（前年同四半期の得られた資金は19億80百万円）となりました。これは主に、短期借入金、長期借入金の借入による収入がそれぞれ13億1百万円、41億40百万円、長期借入金の返済による支出が7億6百万円、配当金の支払い額3億89百万円によるものです。

前年同四半期比で資金が増加となりました要因は、長期借入金の借入による収入の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月期の連結業績予想は、2018年12月13日に公表いたしました内容から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,708,176	10,242,075
受取手形及び売掛金	20,340,794	24,289,305
商品及び製品	15,457,958	14,716,167
仕掛品	635,310	1,212,795
原材料及び貯蔵品	2,332,671	2,239,441
前渡金	500,520	126,946
その他	1,111,949	863,275
貸倒引当金	△5,328	△6,826
流動資産合計	46,082,053	53,683,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,136,737	8,888,458
機械装置及び運搬具（純額）	5,263,935	4,918,724
工具、器具及び備品（純額）	228,434	208,570
土地	3,551,334	3,540,506
リース資産（純額）	96,823	69,812
建設仮勘定	1,203,175	2,399,714
その他（純額）	203,703	194,373
有形固定資産合計	19,684,144	20,220,159
無形固定資産		
ソフトウェア	48,257	53,473
その他	138,919	136,882
無形固定資産合計	187,176	190,356
投資その他の資産		
投資有価証券	3,641,189	3,789,305
保険掛金	63,081	85,410
繰延税金資産	79,367	91,235
その他	1,009,548	1,112,433
貸倒引当金	△64,778	△65,689
投資その他の資産合計	4,728,408	5,012,695
固定資産合計	24,599,729	25,423,211
資産合計	70,681,783	79,106,390



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,899,786	11,934,735
短期借入金	11,133,335	12,433,043
1年内返済予定の長期借入金	383,700	360,998
未払金	1,873,516	1,903,261
未払法人税等	580,981	700,627
賞与引当金	813,361	683,970
役員賞与引当金	14,884	24,300
その他	990,898	1,183,757
流動負債合計	25,690,463	29,224,693
固定負債		
長期借入金	4,933,254	8,389,706
繰延税金負債	223,398	275,620
退職給付に係る負債	673,217	691,224
役員退職慰労引当金	308,822	330,028
その他	152,129	141,592
固定負債合計	6,290,821	9,828,171
負債合計	31,981,285	39,052,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,379,736	3,379,736
資本剰余金	3,042,771	3,046,538
利益剰余金	29,502,952	30,874,702
自己株式	△450,189	△450,878
株主資本合計	35,475,271	36,850,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,649,063	1,752,530
繰延ヘッジ損益	34,852	36,100
為替換算調整勘定	797,407	666,239
退職給付に係る調整累計額	△21,878	△19,690
その他の包括利益累計額合計	2,459,446	2,435,179
非支配株主持分	765,780	768,246
純資産合計	38,700,497	40,053,525
負債純資産合計	70,681,783	79,106,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年11月1日 至2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)
売上高	56,534,697	57,509,513
売上原価	47,575,840	49,067,419
売上総利益	8,958,856	8,442,093
販売費及び一般管理費	5,770,451	5,850,501
営業利益	3,188,405	2,591,591
営業外収益		
受取利息	2,799	1,651
受取配当金	23,651	26,407
持分法による投資利益	13,580	9,560
保険配当金	13,156	10,227
受取保険金	62,747	7,673
その他	63,055	39,926
営業外収益合計	178,992	95,447
営業外費用		
支払利息	82,520	92,491
為替差損	7,376	14,256
その他	8,401	13,631
営業外費用合計	98,298	120,380
経常利益	3,269,098	2,566,659
特別利益		
固定資産売却益	3,023	4,543
特別利益合計	3,023	4,543
特別損失		
固定資産解体費用	-	3,380
固定資産除却損	7,150	15,631
固定資産売却損	3,633	4,029
特別損失合計	10,784	23,040
税金等調整前四半期純利益	3,261,337	2,548,162
法人税、住民税及び事業税	913,453	773,013
法人税等調整額	△17,672	△4,217
法人税等合計	895,780	768,796
四半期純利益	2,365,557	1,779,365
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,844	17,776
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,355,713	1,761,589

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
四半期純利益	2,365,557	1,779,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110,342	97,802
繰延ヘッジ損益	△50,303	1,247
為替換算調整勘定	△276,386	△131,168
退職給付に係る調整額	—	2,187
その他の包括利益合計	△437,031	△29,930
四半期包括利益	1,928,525	1,749,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,919,827	1,737,323
非支配株主に係る四半期包括利益	8,698	12,112

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年11月1日 至2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,261,337	2,548,162
減価償却費	925,852	1,039,755
支払利息	82,520	92,491
為替差損益(△は益)	10,593	△1,211
引当金の増減額(△は減少)	△178,569	△96,321
売上債権の増減額(△は増加)	△2,990,984	△3,975,653
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,325,460	226,067
仕入債務の増減額(△は減少)	3,075,748	2,054,428
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△592,784	637,260
その他	△58,102	85,266
小計	210,150	2,610,247
利息及び配当金の受取額	51,963	44,559
利息の支払額	△80,713	△85,237
法人税等の支払額	△818,522	△613,621
営業活動によるキャッシュ・フロー	△637,122	1,955,948
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,819,264	△1,697,719
有形固定資産の売却による収入	44,930	10,700
投資有価証券の取得による支出	△8,329	△9,134
その他	△4,889	△20,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,787,552	△1,716,647
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,136,482	1,301,620
長期借入金の返済による支出	△392,070	△706,250
長期借入れによる収入	1,100,000	4,140,000
自己株式の取得による支出	△404,773	△688
リース債務の返済による支出	△33,068	△31,653
配当金の支払額	△426,243	△389,839
非支配株主への払戻による支出	—	△5,880
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,980,327	4,307,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	△59,387	△12,711
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,503,734	4,533,898
現金及び現金同等物の期首残高	8,009,421	5,708,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,505,687	10,242,075

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	48,273,606	4,747,663	3,513,427	56,534,697	—	56,534,697
セグメント間の 内部売上高又は振替高	120,806	6,255,781	1,437,858	7,814,446	△7,814,446	—
計	48,394,412	11,003,444	4,951,285	64,349,143	△7,814,446	56,534,697
セグメント利益	2,589,348	724,880	76,576	3,390,804	△202,399	3,188,405

(注) 1. セグメント利益の調整額△202,399千円には、セグメント間消去△6,388千円、全社費用△196,011千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,908,306	4,071,491	3,529,716	57,509,513	—	57,509,513
セグメント間の 内部売上高又は振替高	238,419	5,042,099	1,593,606	6,874,126	△6,874,126	—
計	50,146,725	9,113,591	5,123,322	64,383,640	△6,874,126	57,509,513
セグメント利益	2,257,832	455,789	90,083	2,803,706	△212,114	2,591,591

(注) 1. セグメント利益の調整額△212,114千円には、セグメント間消去1,429千円、全社費用△213,543千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。